

Q-EKM

Quantum Encryption Key Manager

重要なデータをセキュアに保護する、エンタープライズ・クラスで実証されたセキュリティ

Quantum Encryption Key Manager (Q-EKM) は、クアンタムの複数のテープライブラリ間で暗号キーを管理するための、操作性に優れたソリューションです。このソリューションはすでにエンタープライズ・クラスで実証されています。Q-EKM の集中管理型キー・マネージャ・アプリケーションは、柔軟性とパフォーマンスを最大限に活用するためにデータ・バスを使用せずに、LTO-4 ドライブ・ベースのデータ暗号化プロセスの一部として使用される暗号キーを管理します。

機密性の高い公的なデータや企業独自の知的財産のデータの漏洩がもたらす損失（コスト）やダメージを考えると、データを暗号化するメリットは計り知れません。Q-EKM は、テープライブラリ、およびテープライブラリから取り出されたテープに保存されている重要なデータを保護するための、エンタープライズ・クラスで実証されたソリューションを提供します。

Q-EKM は、暗号キーを生成、保護、保存、および管理する Java ソフトウェア・プログラムで、集中管理されたキーストア内の複数のライブラリをサポートします。これらのキーは、LTO-4 テープドライブで使用され、テープ・メディアに書き込まれる情報を暗号化し、テープ・メディアから読み取られる情報を復号化します。暗号キーはライブラリとドライブ間のインターフェースを経由するため、暗号化はアプリケーションに対して透過的です。Q-EKM は、顧客環境にあるテープライブラリ内の LTO-4 ドライブに対応した暗号キーを生成し、標準の Ethernet ベースの IP 接続を使用して通信します。

LTO-4 テープドライブに搭載されている米国政府推奨の AES 256 ビット暗号化をサポート

新たに発売された LTO-4 ドライブに搭載されているドライブ・ベースの暗号化機能の導入によって、管理者はセキュアなデータ保護を実現する、よりコスト効率に優れた方法を利用できるようになります。LTO-4 の暗号化は、解読不可能であることが米国政府によって認定されている AES 256 (Advanced Encryption Standard) 暗号化規格に基づいています。

データ・バスを使用しないソリューションにより、最大のパフォーマンスと柔軟性を実現

Q-EKM の暗号化はデータ・バスを使用せずに行われるため、バックアップ・パフォーマンスに影響を与えることがありません。また、リストアの際に、データを暗号化したシステムでリストアを行わなければならないという要件が不要になります。Q-EKM によって生成される暗号キーは、IP ベースの Q-EKM システムに接続されているライブラリに転送されます。Q-EKM アプローチのメリットは、各アプリケーションまたはライブラリでのキー管理を必要としない、本来の意味でのエンタープライズ・クラスのソリューションであるということです。これによって、「同一システム」でのリストア要件、つまりテープ・カートリッジに書き込みを行ったシステムでリストアを行わなければならないという要件が、不要になります。これらの要件は、複数のバックアップ・アプリケーションを実行したり、複数のテープライブラリを使用しているエンタープライズ環境では大きな悩みとなっていました。

エンタープライズ・クラスで実証されたソリューション

Set-and-Forget 機能（設定後は操作不要）によって優れた操作性を実現

エンタープライズおよび分散環境向けのスケラビリティ

主な機能と特長

- 業界標準のセキュリティ — 米国政府によって認定された AES 256 ビット・データ暗号化機能による重要なデータの保護
- LTO-4 テープドライブ・ベースの暗号化と連動 — バックアップ・アプリケーションのパフォーマンスへの影響がなく、またバックアップ・ウィンドウを増やすこともありません。さらに追加コストも不要。
- シームレスな統合 — 既存のバックアップ環境構成の変更が不要
- クアンタムの階層型セキュリティ・ソリューションを構成 — 使用環境固有のセキュリティ・ニーズに対応
- Set-and-Forget 機能（設定後は操作不要） — 定期的な保守や管理が不要なため、IT リソースをデータ・センターの他のエリアにまわすことが可能
- データ・バスを使用せずに暗号化 — パフォーマンスに影響を与えることなく暗号化を実現
- 優れた柔軟性を提供 — データセンターで暗号化されたデータを DR サイトでもリストア可能
- エンタープライズ・クラスに対応（Enterprise Ready） — LAN/WAN での Ethernet ベースのコミュニケーションにより、複数のクアンタム・ライブラリ間での共通キーストアの共有が可能
- 優れた拡張性 — 様々な要件に応じて拡張可能、多数のクアンタム・ライブラリをサポートします
- 同期化されたキーストア — 物理的に別の場所に保存することで、中断されることなく運用を継続

拡張可能で容易な設定

Q-EKM のライセンスは、暗号キーの管理を必要とするソリューションに応じて購入できるので、データの増大に対応して簡単に拡張できます。Scalar i2000 および Scalar i500 では、どちらも使いやすい GUI を使用して Q-EKM に接続できるので、簡単に設定ができます。

設定後は操作不要

Q-EKM は、「設定後は操作不要」という考えを基に設計されています。キーの管理作業が、IT 管理者にとって余計な心配事になってはなりません。Q-EKM をインストールすると、バックアップやリストア用のキーの生成、発行、および管理作業に対してユーザの介入が不要となります。キーが使用可能である限り、管理者が介入することなくデータは暗号化され管理され続けます。

高可用性 (HA) 対応

Q-EKM とキーストアへのアクセスをより強固に保護するために、Q-EKM では HA 構成オプションをサポートしています。HA 構成では、ローカル・サイトとリモート・サイトでそれぞれ 1 台、合計 2 台の Q-EKM サーバが接続され同期されています。このため、いずれかのサーバがダウンしても、キーは常に使用可能です。

必要システム構成

オペレーティング・システムとの互換性 (ホスト・サーバ)

Windows 2003 Server
RHEL 4

サーバ

Xeon クラスのサーバ
最低 1GB のメモリ
最低 10GB の HD 空き領域

接続

Q-EKM は、LTO-4 暗号キーを取得するために、この暗号キーを使用するすべてのクアンタム製ライブラリと IP 接続されている必要があります。

対応テープ・ライブラリ製品*

Scalar i2000
Scalar i500

* ライブラリには、パーティションのすべてが Library Managed Encryption に設定されている LTO-4 ドライブのみが搭載されている必要があります。

インストール

Q-EKM はクアンタムおよびクアンタムのパートナー会社によってインストールされます。

Q-EKM アーキテクチャ



クアンタムについて

クアンタム社 (NYSE: QTM) は、データのバックアップ、リカバリおよびアーカイブソリューションを専門に提供する世界最大規模の独立系ストレージベンダーです。クアンタムは、長年にわたり、顧客のニーズに基づいた技術開発、最新のテクノロジーの導入はもちろんのこと、データプロテクションにおける知識と実績をもとに、お客様のニーズにお応えする高機能かつスケーラブルなデータ保護ソリューションを、高い信頼性を誇る豊富な製品ラインから包括的なサポート・サービスまで含めて、幅広く提供しています。

当製品の販売に関するお問い合わせは右の販売代理店または取扱店までお願いします。
<http://www.quantum.com/jp/>

正規販売代理店及び取扱店

Quantum

Backup. Recovery. Archive. It's What We Do.

日本クアンタムストレージ株式会社

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 2-25-15 TEL. 03-5978-0070

クアンタム、Quantum ロゴおよびその他すべてのロゴは、クアンタム社またはそれぞれの所有者の登録商標です。本カタログに記載の仕様については予告なく変更することがあります。

©2008 Quantum Corporation. All rights reserved.